

令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

令和5年6月1日(木)14時開催

1. 学校運営協議会について

今年度は、昨年度の委員6名に加え、新たにPTA会長、さらに地域のこども園に勤務されている方が加わり、8名となった。学校・保護者・地域住民が総がかりで児童を育み、将来の地域を担う人材へと成長させることを目指していくことを確認した。

なお、委員長は昨年度に引き続き、奥田委員に引き受けていただくこととなった。

2. 学校教育目標・学校運営方針・地域行事について

今年度の学校経営方針は、「児童の主体性を生む必然性ある授業づくり」に主眼を置いていることを確認した。また、学校生活の中ではもちろん地域行事への参加も通して、「何のための学習なのか」「何のための地域行事なのか」ということを、主体的に考え、取り組む力を育てていく。地域行事については一つ一つ意義があつてのことであるが、その伝え方や内容についても今後工夫が必要であるとの意見も出た。

3. 保健指導と感染症対策について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、学校生活の感染症対策についても学校長から説明があつた。マスクの着用は求めない、また毎日の健康観察の記入・記録はしていないが、可能な限り換気はしていく等、市教委の指示に基づいた学校生活における留意点を確認した。

4. 安全指導・防災について

資料を参考に、学校の事故防止について熟議がなされた。学校長から、いわゆる「コピペ事故」と言われるように、事故が起きた際、十分な事故分析がなされていないため、それによって同じような事故を繰り返してしまうという全国的な傾向がある旨の説明がなされた。これらを受け、本校の安全・防災をこの学校運営協議会を通して高めていくことができないか検討がなされた。さらに、今年度本校級経営方針が「児童の主体性を生む必然性ある授業づくり」であることから、児童自身に、児童自身目で課題を見つけ、解決していく方法もあつてもいいのではないかとの意見も出された。

5. 運営協議会委員のみなさまより

未来の宝である子ども達を、学校・保護者・地域が一体となって育てていく具体的な方法が見えてきた。地域でできること、学校でできること様々あるが、タイアップしてできることが多いことが分かった。ただ、双方負担にならないように今後方途を探っていくという確認がなされた。今後、学校が地域の中の学校であり続けるために、地域みんなで児童を育てる仕組みを作っていくこととした。

6. その他連絡事務

今後の日程について ②7/13(木) ③11/3(祝・金)運動会後 ④2/29(木)「6年生を送る会」後

以上